

令和3年度第3回社会教育委員会議（書面協議）の結果について

1 日 時

令和4年1月28日（金）から令和4年3月9日（水）まで

2 参加者（意見書提出者）

社会教育委員15名

3 協議事項

（1）坂戸市内で活動している子ども会等の把握に係るアンケートの実施について

ア 御意見

- ・このアンケートで実施等の把握もできるので良いと思う。
- ・私が働いている事務所は北坂戸団地地区にあるが、子ども会はない。（団地自治会の各イベント、文化祭、夏祭り等はすべて中止だった）
- ・アンケートの内容に意見はないが、アンケートの結果をふまえ、地域における子ども会活動はこうあってほしい等の方向性を明らかにし、それを具体化するために行政・区・自治会・子ども会育成会・子ども会の役割を明確にし、実践してほしい。
- ・依頼文もアンケートもわかりやすく表現されているのでいいと思う。
- ・依頼文の文章最後、「代表者の方が回答していただいてもかまいません。」は「代表者の方が回答していただいても結構です。」の方がいい。また、「1 目的」の文章は、「坂戸市内で地域の子どもの対象とし、活動を行っている（子ども会等）組織の現状を知るとともに、そこから見えてくる課題にむけ、更なる青少年教育の充実を図ろうとするものです。」の方がいい。
- ・提案が2点。1点目、質問紙アンケート（紙媒体）だけでなくQRコードを読み取って回答できるようにしてはどうか。（グーグルフォームのQRコードを入れておくなど）2点目、このアンケートを今後どのように生かしていくのかにもよるが、活動をしていて困っていること（課題）や支援してほしいこと（ニーズ）なども聞いてみると、より現実的な実態が見えてくるのではないか。
- ・アンケートで収集した情報を基に今後どのようにしていくことが子どもたちにとって良い機会になるかを議論することが重要だと思う。
- ・「質問3」の会費や予算について、具体的な金額を書いてもらった方が、今後の役に立つと考える。
- ・今回会議から初めての参加のため、25年程前の子育ての時を思い出し考えを述べる。子ども会活動は当時から入会者・参加者の減少、支える親の負担などから継続の必要があるのかとの意見があがっていた。市民体育祭では、地域の勝敗に盛り上がり、かるた大会では坂戸市の文化・歴史・自然などを

学び、興味を持つことが出来るなど多くの利点もあった。これからの青少年教育支援の仕方も様々あると思う。エコや環境に意識の高い今の子育て世代の皆さんから、多くの意見をお聞きし、活動を地域でサポート・協力し合えるといいと思う。

- ・別途、青少年活動が活発に行われている他の市の状況（組織的な運営方法）を把握することも重要であると感じた。

イ 質問への回答

- ・依頼文の文言の修正については意見書のとおり修正する。
- ・アンケート「質問3」会費や予算への具体的な金額については現時点で把握は不要と考え、必要最低限の質問に留める。
- ・QRコードについては、返信用の封筒を同封するので、今回は利用しない。
- ・各地区の課題やニーズを問うものを入れてしまうと今回のアンケートの趣旨とは違った意見が多く寄せられる可能性がある。「活動している子ども会等の把握」に焦点を絞ったものとしたい。

ウ 協議内容まとめ

（ア）依頼文修正案

- ・依頼文の文章最後、「代表者の方が回答していただいてもかまいません。」は「代表者の方が回答していただいても結構です。」に修正。
- ・「1 目的」の文章は、「坂戸市内で地域の子どもの対象とし、活動を行っている（子ども会等）組織の現状を知るとともに、そこから見えてくる課題にむけ、更なる青少年教育の充実を図ろうとするものです。」に修正。

（イ）アンケート修正案

- ・「質問3」の会費や予算について、具体的な金額を書いてもらった方が、今後の役に立つと考える。
- ・アンケートを紙媒体だけでなく、QRコードを読み取って回答できるようにしてはどうか。（グーグルフォームのQRコードを入れておくなど）
- ・活動をしていて困っていること（課題）や支援してほしいこと（ニーズ）なども聞いてみると、より現実的な実態が見えてくるのではないかと。

（ウ）今後の協議内容等

- ・アンケートで収集した情報を基に今後どのようにしていくことが子どもたちにとって良い機会になるかを議論。
- ・青少年活動が活発に行われている他の市の状況（組織的な運営方法）の把握。

エ 委員長意見

アンケートについては概ね委員の皆さんに納得いただけて安心した。文言の修正案については対応していきたい。具体的な金額や活動での課題など聞きたい気持ちも解るが、今回はあくまでも活動している子ども会とその類似団体があるかの確認に留めておきたい。今回のアンケート結果をどのように今後の市全体の青少年活動への助力のために役立てていけるかは、来年度社会教育委員会議の主要課題としていけるのではないかと。

また、アンケートを区長に郵送する前に、各地区区長会の総会等で簡単に説明を行ったうえで自宅に郵送できれば、アンケートへの見方も変わると思う。アンケートの対象が新区長となるため、「知らない」と、アンケートが流されてしまう可能性もある。

4 報告事項

(1) 令和5年以降の坂戸市「成人式」名称及び対象年齢等について

- ・令和5年より名称が「二十歳のつどい」となるが、これまで同様喜びの日となることを願う。

(2) 令和4年坂戸市成人式結果について

- ・昨年に続きコロナ禍の成人式となり、大変な配慮が必要だったと思う。各中学校卒業生の出席率は80%前後、多くの成人が楽しみにしていたことがわかる。
- ・成人式も民法の改正を受け18歳に変更するところもあるようだ。「二十歳のつどい」ずばりで良い。卒業生の出席率は80%前後、久しぶりに会う友達もいたり、楽しみもでもあり、節目でもあるのでなるべく参加してほしいと思う。
- ・浅羽野地区の成人式の出席率が悪いがその理由は。

⇒浅羽野地区は駅から比較的近い市街地にあり、成人式対象者に市外から転入してきた大学生や外国人の方なども多く含まれ、それらの方が本市成人式に出席することは少ないため、出席率が低い結果となることが考えられる。実際、坂戸市立浅羽野中学校の卒業生のみで算出した出席率は、78.7%となり、浅羽野中学校区全体の出席率47.3%と比べると大幅に増加する。

※坂戸市立中学校卒業生のみで算出した市全体の出席率は80.9%

(3) 公民館・入西地域交流センター文化祭（オンライン開催）について

- ・公民館・入西地域交流センター文化祭は、コロナ感染防止のためオンライン開催だったということで、公民館活動を誰でも簡単に見ることができ、便利だと思う。しかし、今年は来場できる文化祭になることを願う。
- ・オンライン文化祭、大変興味深く拝聴させていただいた。短い動画のため、気軽に見られて会の雰囲気も分かり、とても良いと思った。コロナに関わらず、活動の様子が見られる動画はHPに掲載しておくことで会員数の増加や活動の広が

りにつながっていくのではないか。

- ・オンラインでの文化祭は今まで現地に足を運ばなければ見ることが出来なかった各団体の活動を手軽に見ていただけるので、PR方法を工夫して多くの方に発信することで、各団体の加入者、公民館の利用者の増加につなげることができると思う。

(4) 令和3年度教養講座の実施について

- ・三芳野に生まれ、日本経済の発展を支え、郷土にも多く力を注いだ大川平三郎氏を深く知る機会となった。郷土の偉人を子どもたちにも伝えていきたい。

5 次回審議事項

(1) 令和4年度社会教育関係団体への補助について

(2) 子ども会及び青少年活動に関する区長へのアンケートの決定について

委員の皆様からの御意見を参考に、第4回坂戸市社会教育委員会議書面審議において、「坂戸市内で活動している子ども会等の把握に係るアンケート」及び区・自治会長への通知を決定したい。